

(佛園議員)

**Q** 広電バス阿戸線の廃止予定について問う。

**A** 広電等と協議検討を行い、年内に一定の方向性を報告できるように取り組んでいく。  
(平本町長)



**A** バス路線については、広電バスが広島方面への唯一の公共交通機関であり、地域の生活の足となっている。特に阿戸線については代わりの手段がなく、地域住民への影響も多大であることから、広電との協議検討を早急にまとめたいたいと考えている。事務レベルでの協議後には、広電トップとの協議も念頭に置き、年内を目途に一定の方向性を報告できるよう、精力的に取り組んでいきたいと考えている。

**Q** 広電バスが阿戸線の廃止を予定していると聞くが、町はどのように対応策を考えているか。

(山野議員)

**Q** 住居表示の進捗状況はどうなっているか。

**A** 事業計画案を作成中で、字名称については残す方向で考えている。  
(前土井総務部長)



**A** 現在は、住居表示の実施区域や実施方法を定めた事業計画案の作成作業を行っており、それが作成され次第、住居表示審議会に諮ることとしている。また、町内の字名称については、慣れ親しんだ地区名称を使用する方向で、審議会の意見を伺いながら進めていきたいと考えている。

**Q** 今年度、住居表示事業に取り組むとの答弁があったが、進捗状況はどうか。また、町内の字名称を残す方向での住居表示は考えているか。

(伊藤議員)

**Q** 厚生労働省からの受託事業である「地域提案型雇用創造促進事業」、「地域雇用開発活性化事業」について。

**A** 受託者により円滑に事業が進められている。(藤森企画課長)



**A** 「地域提案型雇用創造促進事業」は、雇用促進協議会が受託して行っている事業で、観光関連推進事業「筆の都の案内人養成塾」を開講し、現在23名が受講している。また、筆職人後継者育成事業「熊野筆マイスター・スクール」を開講し、現在8名の受講者が穂首づくりの職人を目指し3ヶ月間の訓練を行っている。「地域雇用開発活性化事業」は、地域外人材の短期招聘、人材確保活動、人材育成活動といった雇用を促進する取り組みとして、商工会が受託して行っている。今後の課題としては、雇用の実績を上げるということがあり、町内事業者の協力を得る環境の整備といった点にあると考えている。

**Q** 事業の進捗状況及び、今後の展開に関する具体的な説明を。併せて、事業を遂行するに当たって現在問題点はあるか。